

令和3年度第1回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザー会議
－ 議 事 要 旨 －

日 時： 令和4年1月25日（火） 13時00分 ～ 17時30分

会 場： 博多港センタービル 8F 局議室（対面+WEB形式）

参加者：[アドバイザー] 6名

- ・ 桑江 朝比呂 （港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長）
- ・ 岡田 知也 （国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室長）
- ・ 服部 卓郎 （NPO法人 ふくおか湿地保全研究会 理事長）
- ・ 中島 淳 （福岡県 保健環境研究所 専門研究員）
- ・ 林 博徳 （九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 准教授）
- ・ 内田 泰三 （九州産業大学 建築都市工学部 教授）

※下線__は、オンライン参加を示す

[調査会社] 4名

- ・ 株式会社日水コン 永友、日高、田代、佐藤

[事務局] 4名

- ・ 福岡市 港湾空港局 アイランドシティ事業部
釘宮 計画調整課長、古賀 基盤第2係長、森、清水

議事次第

- (1) 令和2年度 第2回アドバイザー会議の意見と対応
- (2) 湿地の水環境 現況把握
- (3) 順応的管理計画〈暫定プラン〉令和4年1月版
- (4) 順応的管理
 - ①令和3年度モニタリングの結果報告と考察及び評価
 - ②湿地の維持管理作業の報告
 - ③令和3年度 市民見学会および体験会の実施状況
- (5) 令和4年度 順応的管理における取組内容
- (6) 令和4～5年度の整備内容

主な意見

(2) 湿地の水環境 現況把握

- ・三角堰などを設置するなど測定手法の改善を行い、調査の精度を高める改善が必要。

(4) 順応的管理

①令和3年度モニタリングの結果報告と考察及び評価

【水質】

- ・湿地の水について、オーバーフローで排出した水に含まれる栄養塩を計測し、博多湾への負荷の程度を科学的に評価するとともに、底泥の取り扱いについて検討する必要がある。
- ・水質の途中評価を慎重な表現に改める必要がある。

【鳥類】

- ・鳥類についても、水生昆虫と同様、多様性指数を用いて解析した方がよい。

【植物】

- ・侵略的外来種の定義を明示し、種数の経年変化についてグラフを追加する。

(5) 令和4年度 順応的管理における取組内容

- ・底泥の除去などを行う際の評価項目が不十分なため、底質についてのモニタリング項目を追加する必要がある。

(6) 令和4～5年度の整備内容

- ・公園全体のデザインの統一性をはかるため、デザインの専門家にみてもらいたい。その際には、アドバイザーの環境や生物学上の観点からの自由意見も含めてほしい。